

## 目標達成計画

作成日: 令和 4 年 1 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |  |  |            |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標   | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 3    | 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、2019年第5回の開催を最後に入館禁止となり、運営推進会議を開催出来ていない。そのため地域貢献には繋がっておらず、2ヶ月ごとの報告書(サービス内容、事業所の取り組み、研修等)のみ阪南市、地域包括支援センターのみ阪南市、地域包括支援センターに郵送していた。地域代表には電話連絡での対応方法が望ましかったが、怠っていた。運営状況報告書等を活用してはどうかとの意見をもらい、阪南市にそのような報告書があるのかを確認した。 | 2021年12月頃には新型コロナウイルス感染状況が徐々に落ち着いていたので、2022年1月26(水)に第5回運営推進委員会を実施するための案内状を12月20日に自治会長、ご家族、阪南市介護保険課担当者、地域包括支援センター担当者に郵送した。現状における問題点が改善出来る。運営推進委員会の場で意見や要望などを聞き、事業所の運営状況を伝える場とする。           | 2021年12月20日(月)阪南市役所に連絡をし、運営状況報告書という書類・様式はあるのかを確認したところ、そのような書類はないとの返答だった。新型コロナウイルス感染が阪南市及び近隣地域で拡大してきたため、急遽1月19日(水)に開催中止の連絡を入れた。その際、電話で意見や要望等を聞き取ったので、第5回の運営推進委員会の記録として作成し、阪南市介護保険課、地域包括支援センターに郵送する。今後、新型コロナウイルスがどのように変わっていくかは分からないが、感染予防を最優先しながらその時の状況を見て、会議の開催または電話での対応を適宜行っていく。 | 12ヶ月       |
| 2        | 33   | 重度化した場合や終末期のケアについて、事業所としての支援方法を医療機関と連携して対応いくなかで、事業所として出来る支援をご家族と話し合う場を設けてはいるが、今以上に入居者が重度化した場合の対応指針は作成していないので、より安心して最期を迎えられるようになるためにも必要ではないか。  | 看取りとは、病状の回復が見込めない方に対し、無理な延命を行わずに自然に亡くなる過程を見守る事を指している。身体的、精神的苦痛を取り除く処置のみを行い、死を間近に迎えた方が「尊厳のある死」その人らしい人生を全うできるように支援することである。家族の希望を叶え、納得のいく最期を迎える過程を聞き取り、できる範囲の支援を行う。大切なのは、職員が一同となり取り組むことである。 | 死に直面する看取り介護に対し、不安な気持ちを持つ職員は少なくない。入居者が最期を迎える大切な時間を幸せに過ごせるよう全力でサポートする。主治医と連携をとって適宜指示を仰ぎ、ご家族も一緒に取り組んでいくことで、ご本人やご家族が満足のいく最期を迎えていただけるよう、日々知識やスキルを身につけていく。   | 早期         |
| 3        |      |   |  |  | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。